



特集 ～近年の豪雨災害～

- ◇勢田川流域等浸水対策実行計画について
(三重県県土整備部河川課)
- ◇大阪府における高潮対策施設の整備効果
～平成30年台風第21号における高潮施設操作～
(大阪府都市整備部河川室河川整備課)
- ◇大阪市管理河川の平成30年台風21号による被害について
(大阪市建設局下水道河川部河川課)

トピックス

- ◇第12回淡海の川づくりフォーラムを開催しました！！
～滋賀県流域治水条例第34条に基づく
県民相互の連携の支援事業～
(滋賀県流域政策局)

2019 春号

NO. 105

ページ

特集

～近年の豪雨災害～

- 3 勢田川流域等浸水対策実行計画について (B)
三重県県土整備部河川課
- 7 大阪府における高潮対策施設の整備効果
～平成30年台風第21号における高潮施設操作～
大阪府都市整備部河川室河川整備課
- 11 大阪市管理河川の平成30年台風21号による被害について
大阪市建設局下水道河川部河川課

トピックス

- 15 第12回淡海の川づくりフォーラムを開催しました！！
～滋賀県流域治水条例第34条に基づく県民相互の連携の支援事業～
滋賀県 流域政策局

季節の水辺風景

- 17 ～春の引原ダム～ (C)
兵庫県県土整備部土木局河川整備課

水辺を楽しもう

- 18 春の鴨川を散策しませんか？
京都府建設交通部河川課

インフォメーション

- 19 岡崎桜回廊ライトアップ&十石舟めぐり
- 20 大野ダムさくらまつり etc



※表紙写真

① 鴨川

鴨川は、京都市北西部の棧敷ヶ岳付近を源とし、桂川の合流点に至るまで京都市内の南北を流れる約23kmの河川です。悠久の歴史の中で千年の都と京文化を育んできた川であり、今も大都市にあつて清澄さを保ち、憩いの場として多くの人に親しまれています。鴨川の河川環境を安心・安全で良好かつ快適なものとして次の世代に引き継ぐため、平成19年には「京都市鴨川条例」が制定されました。



※図中 A～C は記事の位置を示しています。



「鴨川茶店」



納涼床と「鴨川納涼」



「鴨川探検！再発見！」

勢田川流域等浸水対策実行計画について

三重県県土整備部河川課

1. はじめに

平成 29 年 10 月（台風第 21 号）洪水では、宮川下流域で、年間降水量の約 1/4～1/3 の雨量を記録し、勢田川流域では甚大な被害が発生した昭和 49 年 7 月洪水（七夕豪雨）の累積雨量 496mm を大幅に上回る累積雨量 584mm（観測史上最大）となりました。

三重県伊勢市内では、満潮と台風による高潮・大雨のピークがほぼ同時に発生した影響もあり、雨水排水不良による浸水に加えて、勢田川・桧尻川・汁谷川の河川からの氾濫も生じ、広範囲で浸水被害が発生しました。

このような状況を受け、流域全体で、関係機関があらゆる施策を総動員して浸水被害軽減に向けた取り組みを実施するため、伊勢市及び三重県（土木、下水道、危機管理、農林地域部局ほか）、国（三重河川国道事務所）が一堂に会し「勢田川流域等浸水対策協議会」を平成 30 年 1 月 26 日に設立しました。

3 回の協議会を経て、より効果的な浸水被害軽減対策を、総合的・一体的に推進するための「勢田川流域等浸水対策実行計画」をとりまとめました。

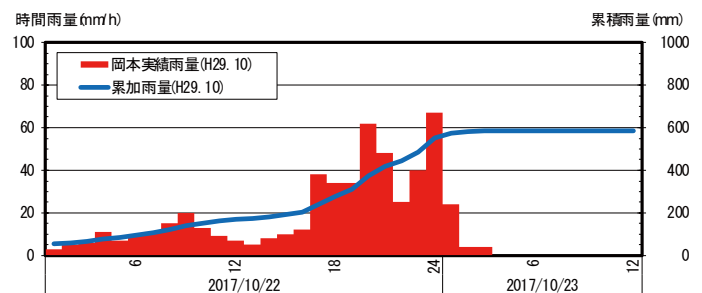
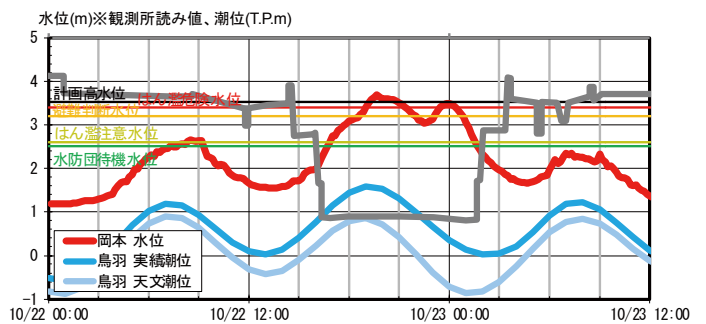


対象河川位置図

この実行計画は、浸水被害軽減のためのハード対策として、河川整備や下水道整備等を、ソフト対策としての的確な避難誘導のための防災教育の強化等に連携して取り組むものとし、各機関は、目標の達成のために、この計画に基づき対策を実施します。



浸水被害状況（伊勢新宮外宮参道）

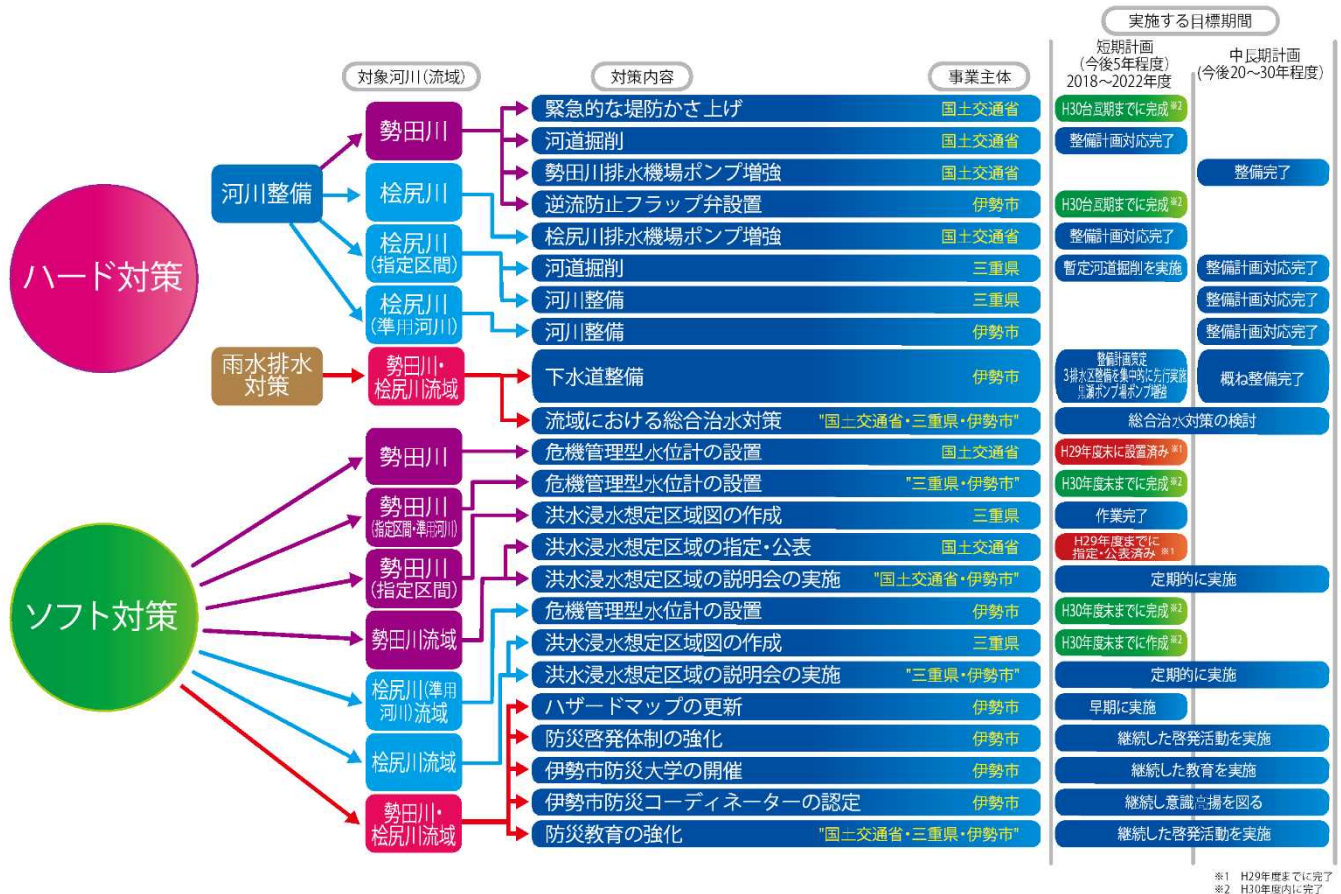


累積雨量と岡本観測所水位

2. 浸水被害軽減対策

浸水被害軽減のため、勢田川、桧尻川流域の河川整備や下水道整備等の考えられる浸水対策を検討し、整備や施策の早期効果の発現や実現性（実施可能時期）等を考慮し、短期・中長期の計画に基づき、関係機関（伊勢市、三重県、国土交通省）が連携してハード・ソフト対策を一体的に取り組みます。

(1) 浸水被害軽減対策のメニュー



(2) 主なハード対策

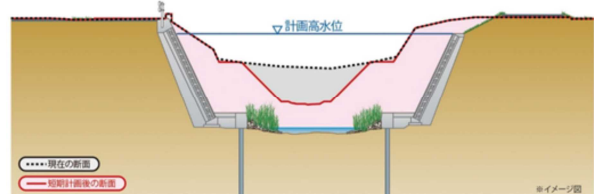
緊急的な堤防かさ上げ

勢田川では、平成29年10月（台風第21号）洪水で河川からの氾濫が発生した JR 参宮線勢田橋梁部付近と北新橋右岸下流（平成30年6月完成済）において、緊急的に堤防かさ上げを実施します。



河道掘削

勢田川・桧尻川では、河川の水位を下げるために、河道断面を増やす掘削を実施します。



排水機場ポンプ増強

家屋浸水被害の防止のため、下水道整備等と事業調整を図り、桧尻川排水機場ポンプ、勢田川排水機場ポンプの増強を実施します。

逆流防止フラップ弁設置

勢田川からの逆流による浸水を防ぐために、排水管等の逆流防止フラップ弁設置を行います。



下水道整備

雨水排水不良による浸水を防ぐために、優先度の高い地域から雨水ポンプの増強や雨水排水路の整備を実施します。

流域における総合治水対策

河川整備や下水道整備等に加え、各流域の流出抑制に向けた保水機能・遊水機能を確保する対策を検討します。

(3) 主なソフト対策

危機管理型水位計の設置

河川水位情報をリアルタイムに把握でき、避難準備等に活用できるように危機管理型水位計を設置します（国は勢田川に平成 29 年度末に設置済）。また、危機管理型水位計運用システムにより、水位情報の提供を行います。



洪水浸水想定区域の説明会の実施

洪水浸水想定区域の説明会およびワークショップを開催し、住民自らの的確な避難判断につなげます。



ハザードマップの更新

指定区間（県）の洪水浸水想定区域図を作成し、ハザードマップの更新を行います。

伊勢市防災大学の更新

伊勢市防災大学を開催し、市民の防災知識を深め、防災に対する意識高揚を図ります。

伊勢市防災コーディネーターの認定

防災士の資格を持つ市民が伊勢市防災コーディネーターとして、地域の防災講習会やワークショップのスタッフとして参加し、防災意識の高揚に向け、今後も継続して実施します。



防災啓発体制、防災教育の強化

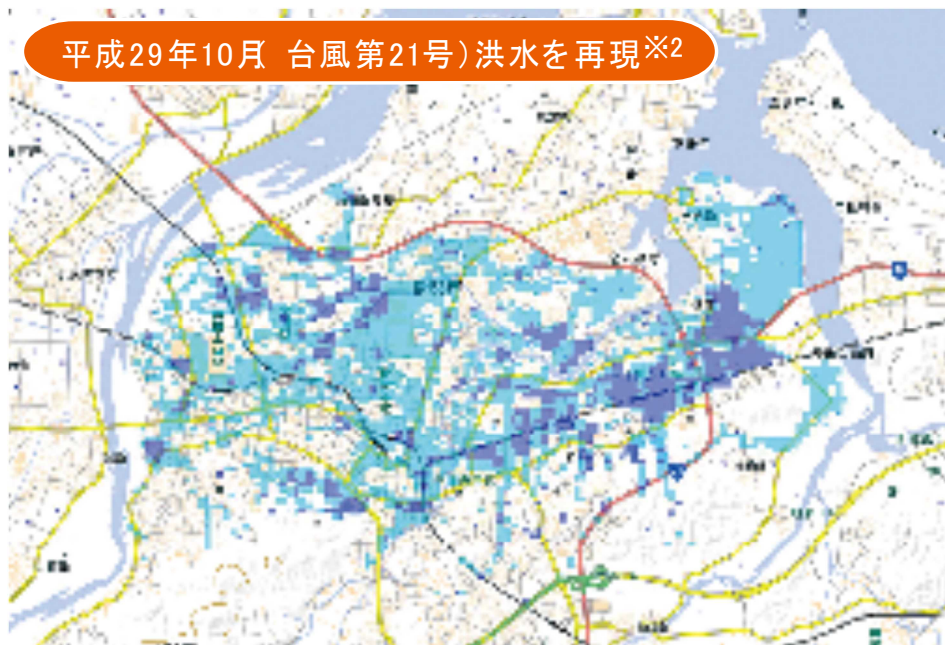
防災マネージャー及び防災アドバイザーの体制で、自治会やまちづくり協議会における防災講習・訓練を実施します。防災教育では、国土交通省、気象庁、京都大学、まちづくり協議会などが連携して、講習会やワークショップを開催します。



3. 対策の効果

中長期計画（20～30年程度）のハード対策整備により、平成29年10月（台風第21号）洪水（年超過確率^{※1}1/100を超える規模）に対して、床上浸水を解消します。

^{※1} 年超過確率1/●●：毎年、1年間にその規模を超える現象が発生する確率が1/●●であることをいう。本計画では、高潮と洪水が同時に発生した場合の確率を示している。



^{※2} 現在の施設で平成29年10月（台風第21号）洪水が再来した状況をシミュレーションにより再現したものです。



^{※3} 中長期計画に基づく対策の実施後の施設で、平成29年10月（台風第21号）洪水が再来した場合をシミュレーションにより再現したものです。中長期計画整備後に50cm以上の浸水が一部ありますが、床上浸水は発生しません。なお、勢田川排水機場の排水量は60m³/sとして試算したものであり、今後の検討により、変更となる場合があります。

4. 効果的な浸水被害軽減対策の実現に向けて

「勢田川流域等浸水対策実行計画」に基づき、勢田川、桧尻川における浸水被害の軽減を図るため、関係各機関はこの計画に基づいて進捗管理を行うとともに、実施過程においては随時確認を行い、必要に応じて計画を見直し、効率的かつ効果的な浸水被害軽減を目指します。

1. はじめに




平成 30 年は日本全国で自然災害が多発し、大阪府においても大阪府北部を震源とする地震、7 月豪雨、台風第 21 号など、度々大規模災害に見舞われました。

特に台風第 21 号による高潮は、過去に大阪で甚大な浸水被害が発生した第二室戸台風（昭和 36 年）の潮位を上回り、大阪湾での観測史上最高潮位を記録しました。

しかし、これまで整備を進めてきた防潮堤や鉄扉、三大水門（表-1 参照）などの高潮対策施設の適切な操作を実施したことにより、市街地の浸水被害を防止することができました。

今回は、大阪府のこれまでの高潮対策、平成 30 年台風第 21 号による高潮の概要ならびに施設操作と整備効果について紹介します。

表-1 三大水門の諸元

	安治川水門	尻無川水門	木津川水門
写真			
径間	57.0m×1		
扉体の大きさ	幅 66.7m、高さ 11.9m		
扉体重量	530t		
完成年月	昭和 45 年 3 月	昭和 45 年 11 月	昭和 45 年 11 月
事業費	3,138 百万円	2,791 百万円	2,568 百万円

2. 大阪府の高潮対策

大阪は低平地に都市機能や資産が集中しており、過去より室戸台風（昭和 9 年）、ジェーン台風（昭和 25 年）、第二室戸台風（昭和 36 年）などの高潮による甚大な浸水被害を受けてきました（表-2 参照）。これらを契機として、大阪府では昭和 40 年に、「史上最大と考えられる伊勢湾台風級の超大型台風が大阪湾に最悪のコース（室戸台風の経路）を通過して満潮時に来襲した場合」の高潮計画を立案（計画高潮位 OP+5.20m）し、三大水門、毛馬排水機場などの高潮対策施設の整備を進めてきました。なお、三大水門は完成からこれまで計 11 回の閉鎖実績がありますが、平成 30 年においては台風第 20 号、第 21 号、第 24 号と 1 年間で 3 度閉鎖しました。

表-2 過去の主な高潮被害

発生年月日	災害事象	床上浸水(戸)	床下浸水(戸)	死傷者(人)
1934年9月21日 (昭和9年)	室戸台風	府下 166,720		府下 17,898
1950年9月3日 (昭和25年)	ジェーン台風	府下 45,406	府下 35,406	府下 21,465
1961年9月16日 (昭和36年)	第二室戸台風	59,198	67,782	2,165

3. 平成30年台風第21号による高潮の概要

平成30年台風第21号は平成30年9月4日に徳島県南部に上陸した後、近畿地方を縦断した後、日本海を北上しました(図-1参照)。今回の台風では、近畿地方や四国地方を中心に高潮が発生し、気圧低下による吸い上げ効果と強い南風による吹き寄せ効果が大きかったことで、大阪湾の沿岸では顕著な高潮となり、大阪湾での観測史上最高潮位を記録しました(表-3参照)。

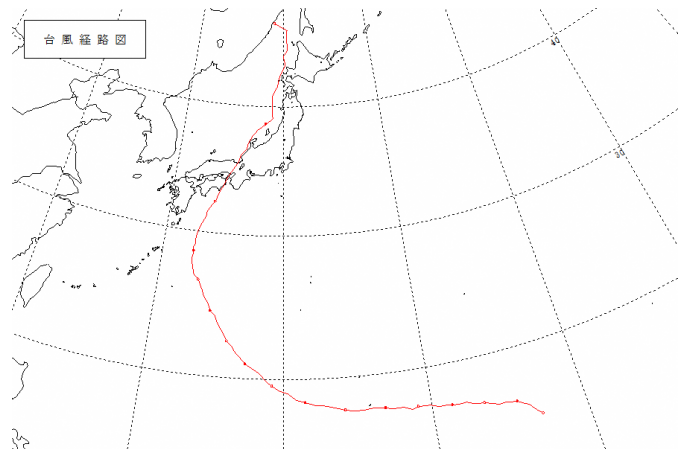


図-1 台風第21号の経路(出典:気象速報大阪管区気象台)

表-3 過去の台風との比較(※風速観測地点:大阪市)

発生年月日	災害事象	最大瞬間風速	最高潮位	最高潮位偏差
1934年9月21日 (昭和9年)	室戸台風	60.0m/s	OP+4.20m	3.11m
1950年9月3日 (昭和25年)	ジェーン台風	44.7m/s	OP+3.85m	2.40m
1961年9月16日 (昭和36年)	第二室戸台風	50.6m/s	OP+4.23m	2.60m
2018年9月4日 (平成30年)	平成30年 台風第21号	47.4m/s	OP+4.59m	2.77m

4. 平成30年台風第21号における大阪府の高潮施設操作及び整備効果

大阪府における高潮防御施設の操作については大阪府水防計画に定めており、施設ごとの操作対象潮位に加え、その施設操作に要する時間や協議調整が必要な関係機関などを考慮のうえ、「いつ、誰が、何をを行うのか」を予め関係者間で共有しています。

三大水門は、大阪湾の潮位が高潮警報基準であるOP+3.50mに達すると見込まれる際に閉鎖する

こととしています。今回の台風では9月4日の午前4時56分に高潮注意報、6時30分に高潮警報が発表されました。これを受け、潮位がOP+3.50mに到達するであろう12時00分に三大水門を閉鎖すべく、7時13分に三大水門の閉鎖準備指令を行い、12時00分に三大水門の主水門を、13時43分に副水門を閉鎖しました（写真-1参照）。また、三大水門閉鎖に伴う河川水を淀川へ排水するための施設である毛馬排水機場の運転指令を11時00分に行い、13時45分に運転を開始しました。そのほか、国道2号をはじめとする各種防潮鉄扉（写真-2参照）の閉鎖を行うなど、道路管理者、鉄道管理者、国、他県等との連動操作が必要な大阪府所管の高潮対策施設について関係者総動員で水門19基、樋門32基、鉄扉等168基の施設操作を実施しました。

その後、台風の接近に伴い潮位が急上昇し、14時18分に大阪湾で最高潮位偏差277cm、14時22分に木津川水門の外水位OP+5.16m（図-2参照）を記録するなど、計画高潮位に迫る高潮となりましたが、高潮対策施設を的確かつ確実に操作したことから、大阪の市街地の高潮浸水を完全に防止することができました。

また大阪府では、高潮対策施設が未整備であった場合の被害想定額は約17兆円に上ると推定しており、これまで進めてきた高潮対策施設の整備が非常に大きな効果を発揮したと言えます（図-3及び図-4参照）。



写真-1 木津川水門の閉鎖状況



写真-2 国道2号鉄扉の閉鎖状況

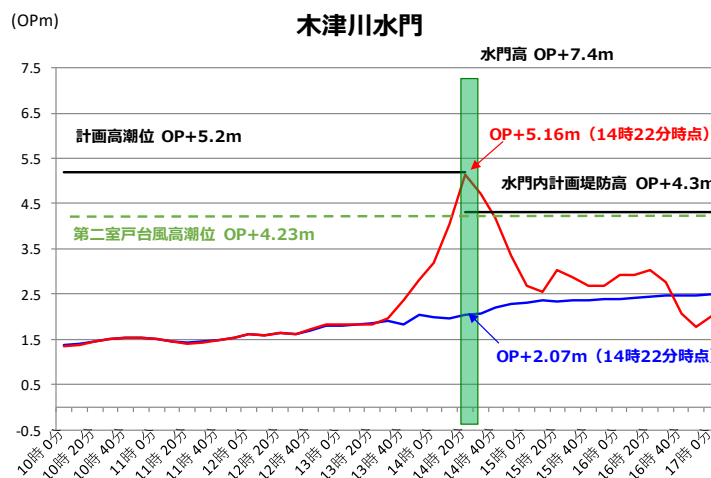


図-2 木津川水門の内外水位の変位

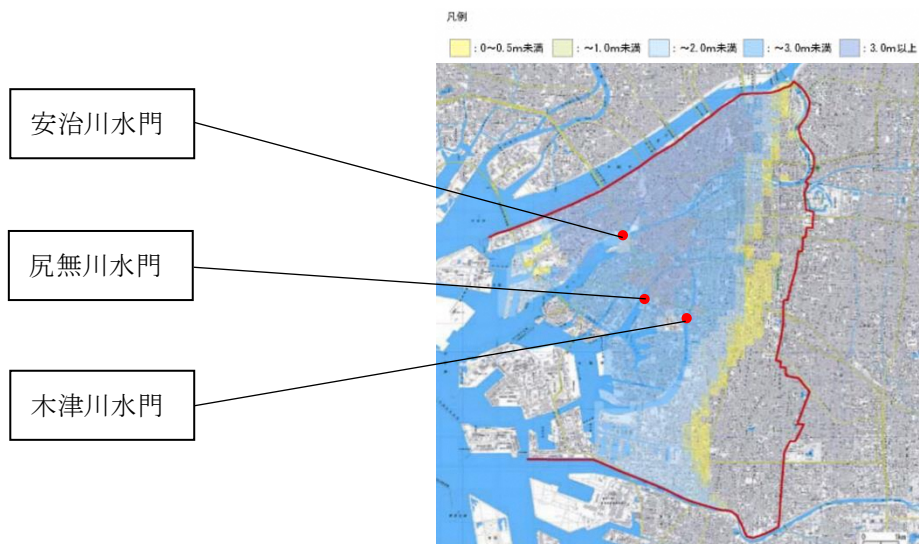


図-3 高潮対策施設が未整備だった場合の浸水想定エリア

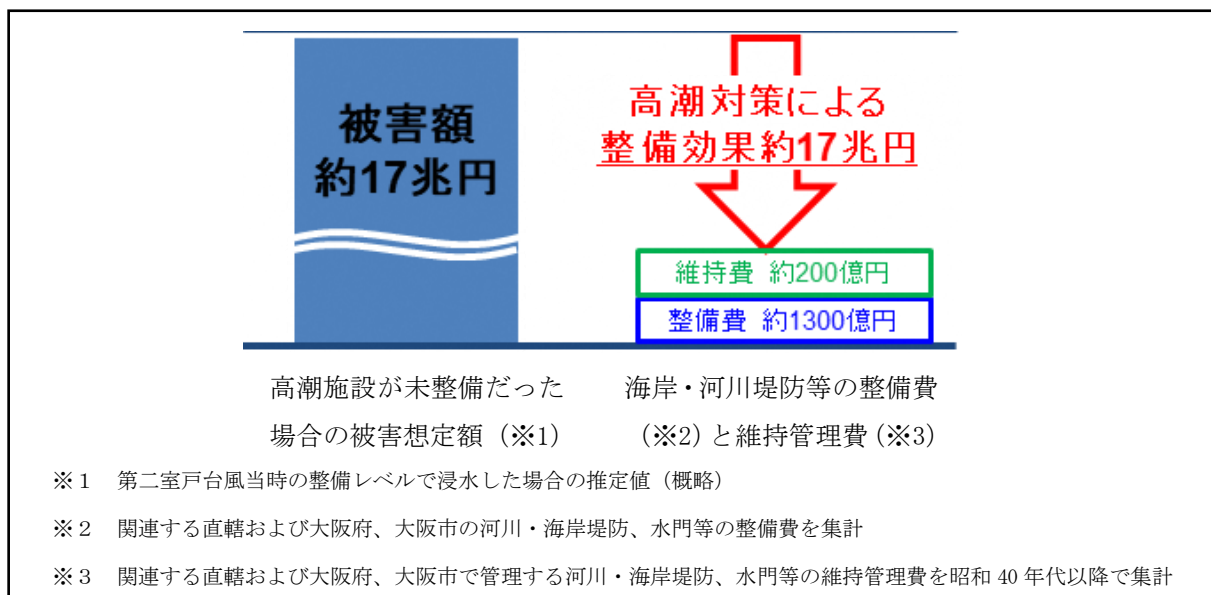


図-4 高潮対策による整備効果

5. おわりに

今回の高潮対応で、三大水門をトラブルなく確実に閉鎖するなど、大阪府所管の高潮対策施設の施設操作を円滑に実施できたのは、施設の適切な維持管理に加え、毎年の大規模かつ組織的な実践型訓練や毎月2回の閉鎖訓練・試運転を行うなどの事前準備を実施してきたことが大きく寄与していると考えられ、こうした災害に対する事前準備の重要性についても再確認出来ました。

なお、今回高潮対策にて効果を発揮した三大水門は、完成から約50年が経過し、老朽化が進んでいることに加え、津波来襲時に、閉鎖した水門の一部が損傷する恐れがあるという課題があります。このため、大阪府では、今年度、現水門付近に津波にも対応できる新水門を建設することを決定しました。

このように、都市基盤施設の防災力向上に資する事業を推進し、今後も災害対応力の強化に努めてまいります。

大阪市管理河川の平成 30 年台風 21 号による被害について

大阪市建設局下水道河川部河川課

1. 平成 30 年台風 21 号による影響について

昨年 8 月 28 日に発生した台風 21 号は、非常に強い勢力で日本列島に上陸し、9 月 4 日に大阪市を直撃した。台風 21 号は最大瞬間風速 58.1m を記録し、大阪市内で死者 3 名、重傷者 4 名、軽傷者 166 名、住家被害 7,322 件、最大約 25 万軒の停電、倒木件数約 8,430 本など、甚大な被害をもたらした。被害は家屋に留まらず、交通機関にも多大な影響を及ぼし、近畿では午前の時点で運休や間引き運転を決定している交通機関が多数あった。本市が管理する河川施設においても被害を受けたことから、本稿では、台風 21 号による本市河川施設の被害とその対応について報告する。

2. 本市が管理する河川について

大阪は江戸時代を中心に多くの水路が整備され、古くから「水の都」と呼ばれてきた。多数の水路が埋め立てられた今でも、市域面積の一割を河川が占めている。

代表的な河川として、江戸時代に多数の堀川の一つとして開削され、舟運の発展に貢献した道頓堀川や、身近な親水空間として親しまれており、現在はせせらぎ空間として市民の生活の中に存在している細江川等が挙げられる。

図-1 のとおり、本市管理河川は、道頓堀川を始めとする一級河川と、準用河川及び普通河川をあわせて計 14 河川、総延長は 24.2 km である。これに加え、現在大阪府より委託を受け、本市が維持管理を行っている城北川がある。これらの河川のほとんどは、矢板護岸やブロック積み護岸の都市河川である。

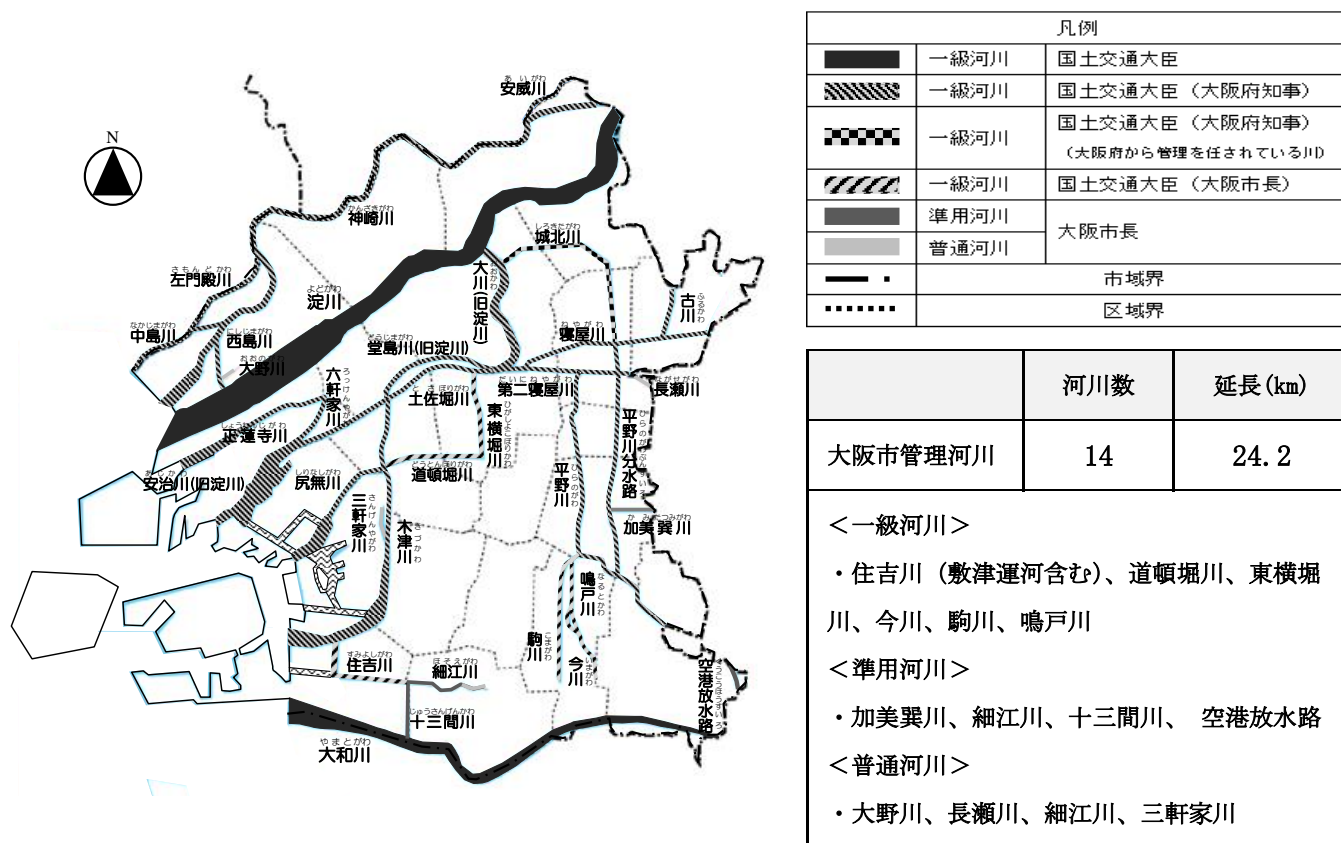


図-1 大阪市の管理河川

3. 本市管理河川における被害状況と対応について

台風 21 号が通過した翌日の 9 月 5 日に、管理河川の被害状況について、本市河川課の職員総出での緊急調査を行った。

堤防の決壊等はなかったが、河道内への高木の落下、遊歩道内での倒木による通行障害、河川側への倒木による転落防止柵の破損など多数の被害が確認された（図-2～図-4）。樹木の多くは根本から倒れており、台風の威力を改めて感じさせられた。

特に被害が多く見受けられた河川のうち、住吉川、十三間川、加美巽川の被害事例を 4. に示す。

4. 被害状況における対応について

河川における被害状況を調査後、緊急度や必要とする施工能力により、業務委託や職員自らによる復旧作業を実施した。以下に事例を示す。図-5 は住吉川遊歩道において本市職員が直接倒木の撤去を行った事例である。図-6 は高度な伐採技術が必要であることから、本市職員による直営作業では困難なため、造園業者による緊急工事に対応した事例である。図-7 は加美巽川において、当局の現場担当部署と連携し、業務委託で河道内の樹木を撤去した事例である。

今回の台風 21 号は河川だけではなく道路や公園等にも想定外の被害を及ぼした。



図-2 倒木による通行障害（城北川）



図-3 倒木による転落防止柵の損傷（今川）



図-4 宅地側へ傾いている樹木（東横堀川）



撤去前



撤去後

図-5 遊歩道上の倒木撤去状況



撤去前



撤去作業の様子

図-6 請負工事による撤去作業状況（緊急工事）



撤去前



撤去後

図-7 河川清掃業務委託での河道内樹木撤去状況

5. 最後に

今回の被害は、強風による倒木が多数を占める結果となった。そのため、被災直後においては、主に以下の緊急対応を行った。

- ・河川内に落下した樹木の撤去作業（流下阻害の解消）
- ・通行阻害となっている遊歩道上の倒木の撤去作業（通行機能の確保）

特に緊急を要する箇所については、本市職員による撤去作業（樹木の切断・現場内小運搬等）を行ったが、十分な機材と人員が不足していたため、被害解消に要した労力は多大なものであった。

災害復旧のためには、迅速に調査を実施し、被害箇所の把握を行い本市関係局と十分な連携を図り対応していくことが重要であるとする。

第12回淡海の川づくりフォーラムを開催しました！！

～滋賀県流域治水条例第34条に基づく県民相互の連携の支援事業～

滋賀県 流域政策局

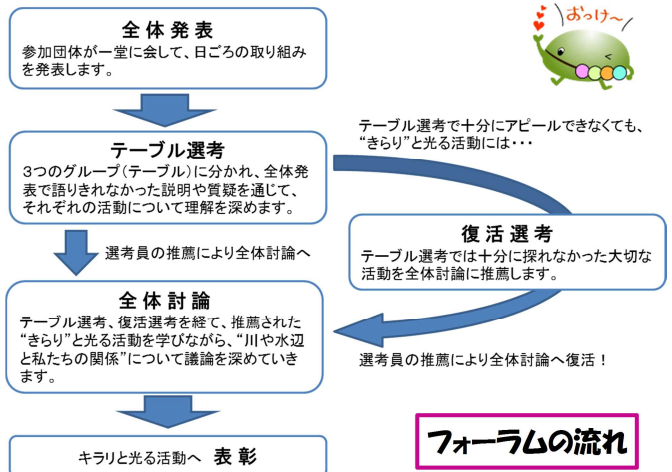
2月3日(日)に第12回目となる「淡海の川づくりフォーラム」を開催しました。

◆淡海の川づくりフォーラムとは??

「淡海の川づくりフォーラム」は、川や水辺にまつわる活動されている皆さんが、“川や水辺と共生する暮らし”、“川や水辺と私たちのいい関係”について、ともに議論を深める公開選考方式のワークショップです。

第12回となる今回は県内外から15団体、小学生から長年活動されている方まで幅広く参加され、一般参加者も含め、約150人による熱い議論がなされました。

【主催：淡海の川づくりフォーラム実行委員会・滋賀県】



◆当日の様子



地区の水害紙芝居を発表

八幡市立馬淵小学校



全体討論

会場からも活発なご意見!



治水利水を学ぶすぐろくの披露



発表時間…2分!
趣向を凝らした発表の数々



みんなでガヤガヤ意見交換中



◆議論を重ねて・・・

テーブル選考と復活選考を経た9団体の中から、会場の皆様との議論を踏まえて、今回、一番キラリと光った団体（グランプリ）を決定しました。

今回のグランプリには、環境保全型農業の効果、特に水田の冬季湛水による生物多様性や川の栄養循環について、研究者と地元の方々が協働で調査をされている「**地球研・栄養循環プロジェクト、小佐治環境保全部会**」が選ばれました。



今回と前回の**グランプリ**受賞者の記念撮影

◆新たな試み～議論の可視化～

今回のフォーラムでは、各団体の発表や活発な議論を『可視化』することを目的に、イラストを交えながらその場でまとめる“グラフィックレコーディング(グラレコ)”を導入しました。



グラレコの様子



全体討論に選考された9団体の発表の**グラレコ**(各団体2分発表+5分質疑の間に描画!)



淡海の川づくりフォーラムは川と水辺を愛する人の交流の場です。ぜひ、次回のご参加をお待ちしています!

<http://www.pref.shiga.lg.jp/h/ryuiki/foulamu/forum-top.html>





～春の引原ダム～

引原ダム

(兵庫県 宍粟市)

揖保川水系引原川の上流に位置する引原ダムでは、以前ご紹介した音水湖カヌーまつりなどのイベントが行われるだけでなく、深緑や紅葉、雪景色など、季節とともに変化する色彩豊かな景観が見られることも魅力の一つになっています。

桜の名所としても知られており、毎年3月末から4月初旬に実施する融雪放流と満開の桜を同時に楽しむことができます。もしもありません。

春の鴨川を散策しませんか？



＜荒神橋から比叡山を望む＞

みんなの川を美しく！



半木の道周辺

鴨川の北山大橋から北大路橋まで、左岸の堤防上には紅しだれ桜が植えられ、満開になると桜のトンネルのようになります。

対岸には、主にソメイヨシノが植えられ、ケヤキ、クロマツ、エノキなど多様な木々とともに左岸とは異なる趣を楽しめます。

また、河川敷は鴨川公園として整備されており、水量が少ないときは飛び石を利用して対岸に渡ることもできます。



花の回廊周辺

鴨川左岸(東岸)の三条大橋から七条大橋までの間は、平成4年から平成11年までの河川改修に併せて「花の回廊」として整備され、しだれ桜やソメイヨシノのほか、しだれ柳などが四季折々に楽しめる散策路となりました。

上段の道路沿いの歩道では桜を身近に感じることができ、下段の川沿いの道では桜とともに周囲の景色も楽しめます。

鴨川には駐車場、駐輪場はありません。周辺の駐車場、駐輪場を利用するか、公共交通機関をご利用ください。半木の道、三条・四条周辺の鴨川は、いずれも自動車、原動機付自転車は進入禁止です(道路区域は除く)。京都府HP <https://www.pref.kyoto.jp/kamogawa/1205475129577.html>

岡崎桜回廊ライトアップ&十石舟めぐり

■日時：平成31年3月23日（土）～5月6日（月・休）

市民による自治120年

■場所：京都市岡崎地区周辺



京都岡崎魅力づくり推進協議会と岡崎桜回廊十石舟めぐり実行委員会では、岡崎の春の風物詩「岡崎桜回廊ライトアップ&十石舟めぐり」を、岡崎地域の各施設・店舗との連携の下で開催します。

今年も便利な乗船券のインターネット事前予約販売（日本語・英語対応）を実施するほか、期間中、岡崎の各施設において春ならではの特別の催しや、エリア内の店舗との連携による来訪者向けの優待企画を実施します。また、ライトアップはLED照明を使用するとともに、「DO YOU KYOTO? クレジット」を活用し、環境に配慮した取組を行います。

見どころ満載の春の岡崎へ是非お越しください。

1 桜回廊ライトアップ

(1) 期間：3月28日（木）～4月7日（日）

午後6時頃～午後9時30分

(2) コース：南禅寺舟溜り（琵琶湖疏水記念館前）

～夷川ダムの琵琶湖疏水沿い約1.5km

※ 桜の開花時期に応じて早期点灯又は点灯延長
することがあります。

夜桜ライトアップの他に、花灯路行灯も設置します。



2 十石舟めぐり

(1) 桜回廊ライトアップ運航期間：3月28日（木）～4月7日（日）

○ 運航時間：午前8時発～午後8時30分発

※ 桜の開花時期に応じて期間を変更することがあります。

(2) 昼間運航期間：3月23日（土）～3月27日（水）、4月8日（月）～5月6日（月・祝）

○ 運航時間：午前9時30分発～午後4時30分発

※ 当日の状況により最終便を午後5時30分発まで延長、**4月15日（月）、4月22日（月）は舟の点検日として運休**

※ 原則15分間隔で運航しますが、閑散時には30分～60分間隔で運航する場合があります。

(3) コース：南禅寺舟溜り乗船場（琵琶湖疏水記念館前）～夷川ダムの琵琶湖疏水沿い往復約3km, 25分

(4) 料 金：大人（中学生以上）1,200円、小人（小学生）600円、幼児（3歳以上）300円

WEB 事前販売一人当たり別途手数料108円（2/27～販売開始, URL：<http://kyoto-tabi.or.jp>）

・主催：京都岡崎魅力づくり推進協議会、岡崎桜回廊十石舟めぐり実行委員会

・協力：京都市上下水道局

・お問合せ：桜回廊ライトアップ（京都岡崎魅力づくり推進協議会、

事務局 京都市総合企画局プロジェクト推進室、TEL 075-222-4178）

十石舟めぐり（岡崎桜回廊十石舟めぐり実行委員会、

運航担当 京都府旅行業協同組合、TEL 075-321-7696（～2月22日）

TEL 075-353-2500（2月25日～）

大野ダムさくら祭り

■日時：4月6日（土）～4月14日（日）

■場所：大野ダム公園（京都府南丹市美山町檜原）

<概要>

「日本のふるさとの原風景」といわれ、豊かな自然と茅葺き民家の調和するまち美山町に位置する大野ダム公園は、桜・青葉・紅葉そして雪景色と四季折々に綾なす美しい自然公園であり、府内有数の観光行楽地として多くの方々に親しまれています。

大野ダムさくら祭りでは、公園に映える桜を眺めながら、夜には桜のライトアップ、週末の土日には季節はずれの大花火、じゃんけん大会、ふるさと鍋など、いろいろな催しや地元特産品の販売などを楽しむことができ、毎年多くの観光客で賑わっています。



・交通機関：最寄り駅 JR 和知駅からバスで約 15 分
京都縦断自動車「丹波インター」下車後、
国道 27 号経由約 20 分

・問合せ先：美山町大野振興会

TEL 0771-75-9110

WEB http://www.kyoto.zaq.jp/miyama_oono/

大和川水辺の楽校まつり

■日時：5月6日（祝・月）10時～15時

■場所：堺市堺区香ヶ丘町5丁
（大和川公園及び河川敷）

■問い合わせ先：

大和川水辺の楽校協議会 [TEL:070-5503-6261](tel:070-5503-6261)

堺市河川水路課 [TEL:072-228-7418](tel:072-228-7418)

鴨川茶店

■日時：4月6日（土）、7日（日）
11時～15時30分

■場所：京都市北区
（北山大橋から北大路橋までの左岸）

■問い合わせ先：

京都府建設交通部河川課 [TEL:075-414-5282](tel:075-414-5282)

■編集後記

投稿していただいた御担当者様におかれましては、お忙しいところ御協力いただきありがとうございます。紙面をお借りしましてお礼を申し上げます。

編集作業を通して、各府県・各政令市での取組やイベントなど知ることができ、大変勉強になりました。今後も「さらさ」が情報共有・情報発信の場として活用されればと思います。

編集担当：京都府建設交通部河川課 高野

